

スギ花粉症治療イネの隔離ほ場栽培

(栽培実験期間:平成23年度)

確認項目	確認結果
交雑防止措置について	○交雑防止措置について 本栽培実験では、隔離距離による交雑防止措置を行っており、研究所内の同種栽培作物までの距離が30m以上であることを確認しました。(研究所外の最も近い農家の水田との距離は750m)。
	○選定場所について 実験区画の開花期の推定平均風速の算出値が毎秒3mを下回ることを確認しました。
	○開花前の低温により交雑の可能性が想定される場合の措置について 交雑が想定されるような低温にはならず、抑風措置は行わなかったことを確認しました。
	○モニタリング措置について 交雑の有無について、モニタリング用の指標作物の種子を22,840粒調査した結果、交雑粒がなかったことを確認しました。
混入・拡散防止措置について	○実験の種子、種苗の分別管理、野鳥等の食害による拡散防止について 実験の種子を密閉容器に入れ、他の種子と分別して管理を実施していることを確認しました。また、育苗は特定網室、栽培期間は防鳥網を張って野鳥等の食害による拡散防止を行ったことを確認しました。
	○栽培実験に用いた機械施設等の洗浄等について 実験区画内にて使用した機械等は区画内の洗い場において払い落とし及び洗浄を行ったことを確認しました。
	○第1種使用規程承認作物の収穫物の管理等について 収穫物については、密閉容器に入れ、隔離ほ場調査室内の鍵付き保冷庫中にて保管していることを確認しました。
	○栽培実験終了後の第1種使用規程承認作物等の処理等について 植物体は、裁断後、鋤込みにより不活化したことを確認しました。
	○第1種使用規程承認作物を栽培した区画での後作の収穫物の取り扱いについて 平成23年度には後作を行いませんでしたが、平成24年度に平成23年度と同様にスギ花粉症治療イネを栽培する計画であることを確認しました。
栽培実験に係る情報提供について	○計画書の公表について 計画書が6月21日に公表されたことを確認しました。
	○説明会の開催等について 説明会は7月9日に開催し、32名が参加。見学は25件(397名)へ対応。田植えに2名、稲刈りに6名が参加されたことを確認しました。
	○栽培実験の経過に関する情報提供について 説明会の開催等、本実験の経過について20件の情報がホームページに掲載されていることを確認しました。
	○栽培実験を終了した後の情報提供について 本試験が平成24年1月23日に終了したことを確認しました。
栽培実験に係る管理体制の整備について	○栽培実験に係る管理体制の整備について 栽培実験責任者、作業管理主任者、情報提供主任者を指名して管理体制を整備していることを確認しました。

農業生物資源研究所 隔離ほ場



隔離ほ場外観
(10月27日撮影)



スギ花粉量治療イネ
(10月27日撮影)



モニタリング用のイネ
(10月27日撮影)